

【基本方向2】社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

| | | |
|---|--|---|
| 施策項目 4 ふるさと教育の充実 5 国際理解教育の充実 6 理科・数学教育の充実 7 情報教育の充実 8 キャリア教育の充実 9 産業教育の充実 10 環境教育の推進 11 高等教育の充実 | 第2期 教育振興 基本計画 基本施策 との対応 | 1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実 2 豊かな心の育成 6 特別なニーズに対応した教育の推進 11 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進 13 キャリア教育の充実、職業教育の充実、社会への接続支援、産学官連携による中核的専門人材、高度職業人の育成の充実・強化 14 優れた才能や個性を伸ばす多様で高度な学習機会等の提供 16 外国語教育、双方向の留学生交流・国際交流、大学等の国際化など、グローバル人材育成に向けた取組の強化 21 地域社会の中核となる高等教育機関（COC構想）の推進 25 良質で質の高い学びを実現する教育環境の整備 27 大学等の個性・特色の明確化とそれに基づく機能の強化（機能別分化）の推進 |
| まとめ | ・道立高等学校及び道立中等教育学校（後期課程）の生徒が国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力を高めることをねらいとし、拠点校8校がICTを活用して海外の高等学校等との交流を行うとともに、実践成果の普及を図るため地区フォーラムを実施 ・小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業の集大成として、本事業に関わった児童生徒が、3年間の学習成果等について共有するとともに、取組及び成果を広く普及し、各学校におけるキャリア教育の指導や取組内容の改善が図られるとともに、他の市町村においても本事業と同様の取組が進んでいくよう、北海道キャリア教育サミットを開催 | |
| | 評価 | 概ね計画どおり |

施策項目4 ふるさと教育の充実

—●—目標値（太字）
 ■…実績値 %…進捗率

| | | | | |
|-------|--|------------|-------------------------------------|------------|
| 指標の状況 | ①住んでいる地域の行事に参加していないと回答した児童・生徒（%）〔全国学力・学習状況調査〕 | H29目標 0% | ②アイヌの人たちの歴史・文化等に関して調べ学習をしている学校（%） | H29目標 100% |
| | <小学校> 実績値 24.4% (進捗率 75.6%) <中学校> 実績値 38.6% (進捗率 61.4%) | | <小学校> 100% <中学校> 100% | |
| | ③北方領土に関して調べ学習をしている学校（%） | H29目標 100% | 参考指標 (a) アイヌ教育相談員による講座の開催数（回） | |
| | <小学校> 100% <中学校> 100% | | <小・中学校> H27: 2, H28: 10, H29: 11 | |

| | | |
|---------|--|---|
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | 【Do】主な実績 |
| | ■本道の自然や歴史、北方領土やアイヌの人たちの歴史などの学習の充実 | ・知事部局と連携した道内の小・中学校への元島民等の派遣（14校）及びアイヌ教育相談員の派遣（10校） ・ふるさと教育・観光教育等推進事業指定校における「指導プログラム」を活用した実践的な授業の実施や公開授業の教員研修の場としての活用（実践校31校、協力校43校） ・北海道ふるさと教育・観光教育等実践事例交流会における本道の自然・文化等の教育資源を活用した実践の交流及び「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用した学習活動の成果の普及（小・中学校教員等98名参加） |
| | ■アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の充実 | ・指導プログラムを活用した指導の普及 ・アイヌ教育相談員の事業指定校への訪問（参考指標(a)） |
| | 【Check】施策の課題 | 【Action】今後の方向 |
| | ●ふるさと教育の更なる充実 〔分析・背景〕 ・アイヌの人たちの歴史・文化等や北方領土に関する調べ学習は、ほぼ全ての小・中学校で行われている ・地域の行事に参加している子どもの状況を踏まえ、ふるさとに対する興味・関心を高める指導を工夫することが重要 〔課題〕 ・アイヌの人たちの歴史・文化等や北方領土に関する施設や人材を活用した体験を通じた学習の一層の推進が必要 ・北海道150周年を迎え、ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の一層の充実を図ることが必要 | ・北方領土対策本部との連携による外部講師の招聘やアイヌ教育相談員を活用した授業の実施 ・本道の自然や文化、観光産業などの教育資源を活用した実践や体験施設先を活用した教育活動の実施 ・「北海道ふるさと教育指導プログラム」や、指導資料「アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習の一層の充実に向けて」等を活用した事業成果の周知及び普及 ・「北海道みんなの日」を中心に、北海道道徳教材「きたものがたり」等を活用した、地域の歴史や文化等を学ぶ授業の実施 |

| 施策の推進状況 | 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 |
|---------|-------------|-------------|----------------|-----------------|----------------|---------------|-----|-----|
| | 概ね計画 どおり | 概ね計画 どおり | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3.0 |
| | | 定性評価 | (定性評価) | | | | | |
| | — | | | | | | | |

施策項目5 国際理解教育の充実

—●—目標値（太字）
■…実績値 %…進捗率

| | | | |
|-----------------------|---|---|---|
| 指標の状況 | <p>④異なる文化や生活習慣などへの意欲が高まったと回答した生徒</p> <p>H29目標 100%</p> <p>〈高校〉 47.0%</p> | <p>⑤外国語活動で中学校と連携している小学校（%）</p> <p>H29目標 100%</p> <p>〈小学校〉 99.3%</p> | <p>⑥外国人等による講演会など国際理解教育を行っている公立高校（%）</p> <p>H29目標 100%</p> <p>〈公立高校〉 100%</p> |
| | <p>参考指標 (b) イングリッシュキャンプ参加者数（人）</p> <p>□ <小学生> ■ <中学生> ▨ <高校生></p> | | |
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | 【Do】主な実績 |
| | <p>■外国語教育の充実</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの活用による実践的な指導（ALT配置数62名） ・小学校教員英語力アップ夏季集中セミナー（H28～29:111名）や、英語教育推進リーダーによる研修（H26～29:323名）、オレンカ教授によるTEFL研修講座（H29:19名）などの教員研修の充実 ・研究指定校における実践研究（小学校4校、中学校2校） ・H28に2町で試行実施した中学生が地域の外国人等との英会話にチャレンジする道独自の「Englishトライアル」の拡充（H29：23市町で実施） ・オールイングリッシュによる生活を体験できる「イングリッシュキャンプ」（6会場：小111名、中85名、運営ボランティア32名 合計228名参加）や、通学型のイングリッシュキャンプであるイングリッシュミーティング（1会場：小13名、中10名 合計23名参加）において、英語劇などの学習による児童生徒の英語力の向上 ・北海道イングリッシュキャンプ・イングリッシュミーティング成果交流会において「書く」「読む」問題の作成の方向性を明確化 ・小学校外国語活動巡回指導教員研修事業（H28：7市町→H29：17市町）の拡充や中学校教員の乗り入れ授業による小学校教員の英語力・指導力向上 ・学科の特性等に応じて英語の活用場面を想定した3タイプの学習プログラムの開発を通じ、英語学習の意欲や授業改善等を図る「高等学校英語力向上事業」を実施（指定校10校） ・学校訪問や各種研修会における、時間割編成や学びの連続性に関する指導資料を活用した指導助言の充実 |
| | <p>■国際理解・異文化理解教育の充実</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーグローバルハイスクールにおける実践研究等に係る中間成果報告会の開催 ・高校生向け「スーパーイングリッシュキャンプ」において、米国総領事のワークショップの実施など、講師・演習内容の改善・充実（1会場、高28名参加） ・留学斡旋団体や、各国大使館等の公的機関職員による海外の主な留学先の生活と教育事情についての説明及び留学相談等を行う海外留学フェアの開催（6会場、119名参加） ・短期留学に対する支援金の給付 ・アルバータ州との高校生の交換留学（派遣8名、受入8名） ・ICTを活用して、道内と海外の高校生が意見交換を行う「U-18未来フォーラム」（8校）及び「地区セミナー」（3会場、56名参加）の開催 |
| <p>■外国人児童生徒の教育の充実</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・帰国・外国人児童生徒等教育の推進に向けた運営協議会（有識者会議：12名）・連絡協議会（関係市町村教育委員会・学校の管理職・教育局指導主事による協議会：53名）の実施による、各地域や学校における支援体制の整備 ・「特別の教育課程」の編成等に向けて専門家を学校に派遣（学校訪問：8校・テレビ会議：1校） ・「帰国・外国人児童生徒受入れQ&A」（追補版）のWeb掲載 | |

| 【Check】 施策の課題 | | 【Action】 今後の方向 | | | | | |
|---------------|---|--|-----------------|----------------|---------------|-----|-----|
| 施策の推進状況 | <p>●外国語教育の充実 〔分析・背景〕</p> <p><小学生の英語力の向上> 新学習指導要領の実施に向けた校内体制の整備に差がある</p> <p><中学生の英語力の向上> 中学校段階で求められる英語力を有する生徒や英検準1級程度以上の英語力を有する英語担当教員の割合、英検等の受験率が全国に比べて低い</p> <p><高校生の英語力の向上> 海外からの旅行者数が増加する中、実践的な語学力等の育成が学校教育に求められている</p> <p>〔課題〕</p> <p><小学生の英語力の向上> ・教員の英語力や指導力の向上を図ることが必要 ・国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力の向上が必要</p> <p><中学生の英語力の向上> ・教員の資格取得の促進を図ることが必要 ・教員の指導力の向上や生徒の英語力の向上を図ることが必要 ・国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力の向上が必要</p> <p><高校生の英語力の向上> 外国語教育の充実に向けて、先進的な取組を行っている学校の成果をより一層普及させていくことが必要</p> | <p><小学生の英語力の向上> ・小学校英語力向上支援事業による児童が英語を使用する機会の提供 ・小学校教員英語力アップ夏季集中セミナーなどによる教員研修の実施 ・小学校外国語活動巡回指導教員研修事業や中学校教員の乗り入れ指導などによる指導力に優れた教員による指導体制の整備 ・新学習指導要領の趣旨等を踏まえた指導方法等に関する指導資料の作成、配付</p> <p><中学生の英語力の向上> ・Englishトライアルなど生徒が英語を使用するシステムの提供 ・オレンカ教授や英語教育推進リーダーによる教員研修の実施 ・英語教育推進リーダーによる教員研修終了後に民間の検定試験の設定による教員の資格取得の促進 ・新学習指導要領の趣旨等を踏まえた指導方法等に関する指導資料の作成、配付 ・千歳科学技術大学との協定に基づき、子ども一人ひとりが英語のリスニングなどに活用できるeラーニングシステムを道内市町村に周知</p> <p><高校生の英語力の向上> 引き続き、学科の特性等に応じて英語の活用場面を想定した3タイプの学習プログラムの開発を通じ、英語学習の意欲や授業改善等を図る「高等学校英語力向上事業」の取組成果を普及（指定校10校）</p> | | | | | |
| | <p>●国際理解・異文化理解教育の充実 〔分析・背景〕</p> <p>社会のグローバル化に伴い、外国語によるコミュニケーション能力の向上とともに、国際社会の一員としての自覚を持ち、主体的に行動できる人材の育成が求められている</p> <p>〔課題〕</p> <p>国際理解・異文化理解のための体験交流機会の充実に向けて、より多くの児童生徒が生徒の英語に触れる機会の充実や海外留学への関心を高める取組が必要</p> | <p>・スーパーグローバルハイスクール成果報告会の実施による研究成果の普及 ・ICTを活用して、道内と海外の高校生が意見交換を行う「U-18未来フォーラム」の「地区フォーラム」において取組成果の普及 ・スーパーイングリッシュキャンプの改善・拡充 ・「グローバル語り部事業」として、高等学校等に、留学経験者及び海外勤務経験者を講師として派遣し、講演等を実施（18校）</p> | | | | | |
| | <p>●外国人児童生徒の教育の充実 〔分析・背景〕</p> <p>・日本語指導等が必要な児童生徒が増加傾向にある ・特別な日本語指導等を必要とする児童生徒の特別の教育課程が編成されている割合が低い ・日本語能力測定法を用いて、日本語能力の把握を行っている割合が低い</p> <p>〔課題〕</p> <p>日本語指導等が必要な児童生徒の受入体制の整備や特別の教育課程、日本語指導等の在り方、学校生活への適応など、日本語指導等が必要な児童生徒等に対する指導支援体制を整備することが必要</p> | <p>・帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業による当該児童生徒等に対するきめ細かな指導支援体制の整備 ・教員等の研修の充実（日本語指導指導者養成研修への教師派遣） ・日本語能力測定法による日本語能力の把握、日本語能力に応じた「特別の教育課程」等について指導助言 ・支援が必要な教育委員会・学校に対する専門家による訪問支援の実施・TV会議システムによる支援</p> | | | | | |
| 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 |
| 概ね計画 とおり | 概ね計画 とおり | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2.7 |
| | 定性評価 | (定性評価) | | | | | |
| | — | | | | | | |

施策項目6 理科・数学教育の充実

— 目標値 (太字) / 実績値 (細字) —
 ●…進捗率

| 指標の状況 | ⑦全国平均正答率を100とした場合の平均正答率 (%) 【全国学力・学習状況調査】 | | H29目標 100% | |
|---|---|--|---|--|
| | | <小学校 (算数A)> 98.3% <小学校 (算数B)> 94.8% | <中学校 (数学A)> 98.6% <中学校 (数学B)> 97.5% | |
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | 【Do】主な実績 | |
| | ■理科・算数数学の指導の充実 | | <ul style="list-style-type: none"> 道立教育研究所における研修（算数科教育研修講座（小学校教員21名参加）、数学科教育研修講座（中学校、高校教員延べ31名参加）、理科教育研修講座（小・中学校、高校教員延べ255名参加）） 北海道学力向上Webシステムを活用したチャレンジテストの配信（算数・数学6回、理科3回） 各学校が分析結果に基づく組織的な授業改善を進めることができるよう、管理職及び教員等を対象とした「組織力強化会議」の開催（14管内、1,606名出席） 各学校における授業改善を促進することができるよう、地域の核として積極的に学力向上の取組に貢献できる教員を対象とした「ミドルリーダー指導力向上研修会」の開催（H29：4会場、239名参加） 理科教員を対象とした「授業実践講座」（4回、高校教員46名参加） 小学校理科専科教員の配置（15校15名） | |
| | ■理数科等における理科・数学教育の充実 | | <ul style="list-style-type: none"> 先進的な理数教育の実践研究（「スーパーサイエンスハイスクール」指定校7校）の実施 HOKKAIDOサイエンスティーチャーズミーティング（高校教員14名参加）等を通じたスーパーサイエンスハイスクールの成果の普及 各SSH指定校における、小中高の教員を対象とした研究発表会、成果報告会等の実施 | |
| | ■理科教育の支援の充実 | | <ul style="list-style-type: none"> サイエンスカーによる移動理科教室の開催（33回、43校2,353名参加） 「科学の甲子園」北海道大会の開催（高19校、33チーム196名参加） 「科学の甲子園ジュニア」北海道大会の開催（中43校、119チーム 347名参加） | |
| | 【Check】施策の課題 | | 【Action】今後の方向 | |
| ●理科・算数数学の指導の充実 【分析・背景】 平成29年度全国学力・学習状況調査における算数・数学の結果は、小学校算数A、算数Bでは全国との差が縮まり、中学校数学A、数学Bでは全国との差が広がった 【課題】 全国学力・学習状況調査結果を活用した組織的な授業改善を促進するため教員研修の取組強化が必要 | | <ul style="list-style-type: none"> 各学校で中心となって学力向上に取り組んでいる教員、管理職を対象に全国学力・学習状況調査の分析・活用及び授業改善を学校全体で行うための研修を行う「組織力強化会議」を引き続き実施 各市町村で中心となって学力向上に取り組んでいる教員（中堅教員）を対象とした授業改善に関する研修を行う「ミドルリーダー指導力向上研修会」を4ブロックで実施するとともに、その成果を普及 平成30年度全国学力・学習状況調査の算数・数学の調査結果の分析を踏まえ、チャレンジテスト「単元別問題」の効果的な活用を促進 | | |
| ●理数科等における理科・数学教育の充実 【分析・背景】 スーパーサイエンスハイスクールの指定校においては一定の成果が上がっている一方、他校への周知が不十分 【課題】 スーパーサイエンスハイスクールの成果の普及が必要 | | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、HOKKAIDOサイエンスティーチャーズミーティング、学校教育指導、教育課程研究協議会等を通じたスーパーサイエンスハイスクールの成果の普及 理科・数学教育の中核としてスーパーサイエンスハイスクールを位置付け、小中高の教員研修を推進 | | |

| | | 【Check】施策の課題 | | 【Action】今後の方向 | | | | |
|---------|------|---|---|------------------------------|----------------|---------------|-----|-----|
| 施策の推進状況 | | ●理科教育の支援の充実 〔分析・背景〕 科学の甲子園に参加する学校が固定化している傾向が見られる 〔課題〕 新規参加校の拡大が必要 | | 北海道高等学校文化連盟理科専門部と連携した新規参加の促進 | | | | |
| | 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 |
| | やや遅れ | 概ね計画どおり | 0 | 4 | 0 | 0 | 3 | 3.0 |
| | | 定性評価 | (定性評価) 全国学力・学習状況調査においては、依然として算数・数学の平均正答率が全国平均を下回る状況であることから「やや遅れ」とする。 | | | | | |
| | やや遅れ | | | | | | | |

施策項目7 情報教育の充実

—目標値(太字) %…進捗率
 ■…実績値

| | | | | | |
|--|---|--|---|--------------|--|
| 指標の状況 | ⑩授業にICTを活用して指導できると回答した教員(%) H29目標 100% | | ⑪コンピューター一台当たりの児童生徒数(人) H29目標 4.3人 | | |
| | <全校種> 81.2% | | <小・中学校> 83.6% | | |
| | ⑫提示用デジタル機器を整備している普通教室(小・中学校)(%) | | H29目標 100% | | ⑬情報モラルを指導できると回答した教員(%) H29目標 100% |
| | <実物投影機> 59.9% | | <表示用機器(電子黒板等)> 94.9% | | <全校種> 86.8% |
| | 参考指標 | (c) 普通教室の校内LAN整備率(%) | | | |
| | <小学校> | <中学校> | <高校> | <特別支援学校> | |
| 参考指標 | (d) 教育用タブレット1台当たりの児童生徒数(人) | | | | |
| | <小学校> | <中学校> | <高校> | <特別支援学校> | |
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | 【Do】主な実績 | | |
| | ■情報活用能力の育成 ■教員の資質・能力の向上 | | ・児童生徒の発達段階に応じた情報活用の実践力の育成に向けた指導主事等による指導・助言や情報提供 ・本道の教育の情報化の目指す姿を示す「北海道における教育の情報化推進指針」の策定・周知 ・情報指導者養成やICT機器を活用した授業づくりなどに関する研修の実施(5講座、75名参加) ・タブレット端末等のICTの効果的な活用や遠隔授業の実施など授業改善や教育手法の検証を行い、先進事例を収集するとともに、成果の普及のため、成果報告会(1回)やICTフォーラムでの事例発表を実施(3回)(実践指定校等:25校) ・教員を対象とした公開研究会の開催 | | |
| | ■情報教育設備の整備 | | 地方財政措置に係る資料にICT環境整備に関する事項を盛り込むほか、「北海道における教育の情報化推進指針」や公開研究会などを通じてICTの活用による効果や導入事例を周知するなど、市町村教育委員会及び市町村に対して情報教育設備の整備促進に向けた働きかけ | | |
| 【Check】施策の課題 | | 【Action】今後の方向 | | | |
| ●児童生徒の情報活用能力と教員のICT活用指導力の育成 [分析・背景] 急速な情報化の進展に伴い、児童生徒の情報活用能力を各学校段階を通じて体系的に育む必要があるが、授業にICTを活用して指導できる教員や情報モラルなどを指導できる教員の割合が十分ではない(目標指標⑩、⑬) [課題] ICTを活用した授業のためのノウハウの確立・共有や、教員のICT活用指導力等の向上を図る研修の充実が必要 | | ・各種会議等において、本道の教育の情報化の目指す姿を示す「北海道における教育の情報化推進指針」を周知、徹底 ・実践指定校などの先進的な事例をもとに「教育の情報化に関する実践事例集」の作成・配布 ・「教育の情報化に関する実践事例集」や公開研究会等を通じて、ICTを活用した遠隔授業等の事例紹介や授業改善の成果を普及 ・「教員研修計画」に位置付けるとともに、実施回数を増やすなど、ICTを活用した指導に関する研修の充実 ・外部人材を活用するなど情報モラルに関する研修の充実 | | | |

| | | 【Check】施策の課題 | | 【Action】今後の方向 | | | | |
|---------|--|--------------|---|-----------------|----------------|---------------|-----|-----|
| 施策の推進状況 | ●情報教育設備の充実 〔分析・背景〕 全道的に見ると、情報教育設備の整備については、年々除々にではあるが整備率は上がっている状況にある（目標指標⑪、⑫） 〔課題〕 市町村ごとに見ると、取組に差が見られる状況にある | | ・引き続き、ICTの活用による効果や導入事例、地方財政措置などについて市町村教育委員会及び市町村へ情報提供 | | | | | |
| | 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 |
| | やや遅れ | やや遅れ | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 2.0 |
| | | 定性評価 | (定性評価) | | | | | |
| | — | | | | | | | |

施策項目8 キャリア教育の充実

— 目標値 (太字) %…進捗率
 ■…実績値

| | | | | | | |
|---------------------|---|---|---------------|----------------------------------|--|----------------------------------|
| 指標の状況 | ⑭将来の夢や目標をもっていると回答した児童・生徒 (%) 【全国学力・学習状況調査】 | | H29目標 100% | ⑮在学中に1回以上インターシ ップを経験した生徒 (%) | | H29目標 50% |
| | <小学校> 84.8% | | | <中学校> 69.6% | | |
| | | | | | | |
| | <高校> 131.2% | | | | | |
| 施策の推進状況 | ⑯就職を希望しているが進路が決 まっていない生徒 (%) | | H29目標 5% | 参考指標 (e)インターンシップ実施生徒数の割 合 (%) | | 参考 指標 (f)高校就職希望者の就職決定率 (%) |
| | <高校> 実績値2.3% (進捗率 102.8%) | | | <高校> | | <高校> |
| | | | | | | |
| | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | 【Do】主な実績 | | | |
| ■一人一人のキャリア発達への支援の充実 | | <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程研究協議会を2回開催し、キャリア教育の効果的な取組として小・中学校におけるキャリア教育の成果を受け継いだ指導方法について説明 ・キャリア教育に関するリーフレットや指導事例集の活用促進 ・各校のインターンシップの取組状況を把握し、実績値が目標に達していない学校に対する指導助言を行うほか、啓発資料を発行し長期間化やアカデミックインターンシップなどの効果的な手法を周知 ・高校生の社会的・職業的自立に向け必要な基礎的・汎用的能力を育むための実践研究（「キャリア教育・職業教育推進事業」研究指定校：4校）の推進 ・地域に根ざした小中高の一貫したキャリア教育に関わる実践研究（「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」）研究指定校：小20校、中16校、高14校）の推進 ・大学、専門学校、自治体等の関係機関との連携によるキャリア教育セミナーの開催（ビジネスマナーアップセミナー4会場84人参加） | | | | |
| ■進路指導の充実 | | <ul style="list-style-type: none"> ・進路相談員の配置（全14教育局） ・ジョブカフェ北海道との連携による教員向けセミナーの開催（2回、高校教員20名参加） ・関係教育局、各管内の企業等と連携した高等学校就職促進マッチング事業の開催（高校生832名、保護者24名参加） ・進路指導担当教員の職場訪問による企業ニーズの把握 ・進路指導に関わり、学校と保護者の連携強化を図るための啓発資料の配布 ・中学校教員の参加による高校の進路指導担当者会議等を開催（14回） ・指定校6校において、就業状況に関する調査を実施し、分析結果を踏まえて就職指導を工夫・改善 ・ハローワークや進路相談員との連携を密にした、生徒・保護者へ求人情報の提供 | | | | |

| 【Check】施策の課題 | | 【Action】今後の方向 | | | | | |
|--------------|--|---|-----------------|----------------|---------------|-----|-----|
| 施策の推進状況 | <p>●一人一人のキャリア発達への支援の充実 〔分析・背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果では、将来の夢や目標をもっていると回答した児童生徒の割合が小学校で約8割、中学校で約7割に留まっている ・インターンシップの実施率について、普通科と職業学科において大きな差が見られる <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領改訂の趣旨を踏まえたキャリア教育の充実に向けた指導助言が必要 ・普通科やその他の専門学科におけるインターンシップの取組について一層の働きかけが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・「小（中）学校教育課程編成の手引」に現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考える学習活動等の事例を取り上げ、指導主事の学校教育指導訪問等で指導助言 ・主体的に地域を支える人材を育成するため、キャリアガイダンスの充実や、インターンシップのほか、将来、社会にどのように参画していくのかを考えさせる体験的な学習活動の充実 | | | | | |
| | <p>●高校生の進路指導の充実 〔分析・背景〕</p> <p>就職を希望する者のうち、進路未決定のまま卒業する生徒が一定程度いる</p> <p>〔課題〕</p> <p>関係機関や進路相談員との連携を密にし、きめ細かい就職支援を行うよう、引き続き働きかけが必要</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成 ・主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を育成する取組の充実 | | | | | |
| 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 |
| 概ね計画 とおり | 概ね計画 とおり | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2.8 |
| | 定性評価 | (定性評価) | | | | | |
| | — | | | | | | |

施策項目9 産業教育の充実

— 目標値 (太字) —
 ■ 実績値
 %…進捗率

| 指標の状況 | ⑦専門的な外部人材の講話を実施している専門学校 (%) | | H29目標 60% | | ⑧産業教育のため、地域や産業界等と連携する専門学校 (%) | | H29目標 80% | | ⑨「食」や「観光」に関する取組が行われている専門学校 (%) | | H29目標 100% | |
|---|--|-------------------|--------------|-------------|-------------------------------|---|---|--|--------------------------------|------------------|------------|--|
| | | <専門学校> 135.3% | | | | <専門学校> 116.0% | | | | <専門学校> 95.7% | | |
| 参考指標 | (g) 地域企業との連携や商品開発や研究を行っている職業高校 (%) <職業高校> | | | | | | | | | | | |
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | | | | | 【Do】主な実績 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■ 社会の変化や産業の動向等に対応した人材育成の推進 ■ 地域や産業界と連携した産業教育の充実 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、試験研究機関、地域産業等と連携した専門的知識・技能の習得や次代の地域産業を担う専門的職業人の育成に係る実践研究（「専門学校Progressiveプロジェクト推進事業」研究指定校：8校）の推進 ・ 大学や企業と連携し規格外の農産物の加工に関する研究を行い、商工会議所と連携し地域の観光ウェブマップを製作。成果発表会を開催しメディア等で周知 ・ 知事部局や関係機関との連携による職業教育セミナー（専門カアップセミナー10校81人参加）の実施 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■ 本道産業への理解の促進 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の観光資源や産業に対する理解を促進するため、地理歴史科や公民科、総合的な学習の時間等における外部人材の活用 ・ 地域の産業特性やニーズに対応する取組に関する実践研究（「専門学校Progressiveプロジェクト推進事業」研究指定校：8校） ・ 大学、試験研究機関等と連携した商品や技術開発等の成果の普及を図るため、専門学校生の学習成果発表会について学校ホームページ等に掲載 | | | | | |
| | 【Check】施策の課題 | | | | | | 【Action】今後の方向 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の産業界等が求める資質・能力の把握 ● 地域産業と連携した実践的な産業教育の充実 ● 地域産業がもつ課題への理解 〔分析・背景〕 グローバル人材の育成を意識した資質・能力の育成が求められている 〔課題〕 学校と地域が連携し、産業教育の充実が地域産業の発展につながるよう、必要な資質・能力等を協働して育成していくことが重要 | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル化や産業構造の変化等に対応できる人材を育成するため、高等学校の職業学科における教育の目標を社会と共有するとともに、専門的な知識・技術の高度化に対応し、課題解決能力を育成する産業教育を社会と連携しながら推進 ・ 地域の基幹産業や職業に対する理解を深め、将来の本道の基幹産業を支える人材を育成する体験的な学習活動の充実 | | | | | | |
| 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 | | | | | |
| 計画どおり | 計画どおり | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3.7 | | | | | |
| | 定性評価 | (定性評価) | | | | | | | | | | |
| | | - | | | | | | | | | | |

施策項目 1.0 環境教育の推進

—…目標値（太字）
■…実績値 %…進捗率

| | | | | | | | | |
|---------|---|----------------|-----------------|----------------|--|------------------------------------|-----|--|
| 指標の状況 | ⑳学校目標など全体計画を作成して環境教育に取り組んでいる学校（％） | | H29目標 100％ | | 参考指標 | (h)ジュニアリーダーの環境をテーマとしたプログラムの参加者数（人） | | |
| | <小学校> 107.3% | | <中学校> 108.4% | | <参加者> | | | |
| | | | | | | | | |
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | | | 【Do】主な実績 | | | |
| | ■環境問題への理解の促進 ■環境に配慮して主体的に行動する意欲や態度の育成 | | | | ・実践発表や体験学習を行う「環境学習フェア」の開催（参加14校） ・環境のための地球規模の学習及び観測プログラム（GLOBE）推進事業の指定（高1校） ・GLOBE指定校における環境学習発表会の開催 ・青少年教育施設における参加・体験型の環境学習プログラムの提供（6施設、33事業、参加者1,174人） | | | |
| | 【Check】施策の課題 | | | | 【Action】今後の方向 | | | |
| | ●環境問題への理解の促進 ●環境に配慮して主体的に行動する意欲や態度の育成〔分析・背景〕 ・学校目標や学年目標、教科等との関連付けを明確にした環境教育に取り組んでいる学校の割合が高まっている（目標指標⑳） ・全ての学校において全体計画を作成し、環境教育に取り組む必要がある | | | | ・引き続き、SSH校等と連携し、環境学習についての発表を行うなど、交流の場を設定 ・「環境のための地球規模の学習及び観測プログラム（GLOBE）推進事業」等の国の研究指定校事業において、研究成果を発表したりウェブページに公開するなどして地域へ普及 | | | |
| | 〔課題〕 引き続き、環境教育の充実に向けた指導の改善を図ることが必要 | | | | | | | |
| 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 | |
| 計画どおり | 計画どおり | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4.0 | |
| | 定性評価 | (定性評価) | | | | | | |
| | — | | | | | | | |

施策項目 1.1 高等教育の充実

—…目標値 (太字) %…進捗率
 ■…実績値

| 指標の状況 | ②道内大学における共同研究の件数 H29目標 1,135件 <道内大学> 97.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--------|---|--------------|-------------|------------|------|--------|-----|------|--------|-----|--------|--------|-----|-------|--------|-----|-------|
| | <table border="1"> <caption>共同研究の件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>~950</td> <td>~1,000</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>~980</td> <td>~1,050</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>~1,000</td> <td>~1,050</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,081</td> <td>~1,100</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,052</td> <td>~1,100</td> </tr> </tbody> </table> | | 年度 | 実績値 | 目標値 | H25 | ~950 | ~1,000 | H26 | ~980 | ~1,050 | H27 | ~1,000 | ~1,050 | H28 | 1,081 | ~1,100 | H29 | 1,052 |
| 年度 | 実績値 | 目標値 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H25 | ~950 | ~1,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H26 | ~980 | ~1,050 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H27 | ~1,000 | ~1,050 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 1,081 | ~1,100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 1,052 | ~1,100 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策の推進状況 | 【Plan】平成29年度の主な施策 | | 【Do】主な実績 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ■高等教育機関と地域との連携の促進 ■時代の要請に応じた専門教育の充実 | | ・産学官の共同研究の促進 (目標指標②) ・地域における新設大学整備支援 (公立はこだて未来大学、名寄市立大学) ・専修学校等の経営の健全化、修学上の経済的負担の軽減のための助成の実施 (私立専修学校 (看護師養成を除く) 98校、私立各種学校3校) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【Check】施策の課題 | | 【Action】今後の方向 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ●私立学校・保護者への支援 [分析・背景] 少子化の進行に伴い、私立学校を取り巻く経営環境は厳しさを増している [課題] 教育条件の維持向上、生徒等の修学上の経済的負担の軽減、経営の健全化が必要 | | ・引き続き地域における新設大学整備を支援 ・学校経営の健全化、修学上の経済的負担の軽減を図り、実践的職業教育の振興に資するよう、限られた財源の効率的、効果的配分に留意しながら、引き続き私立専修学校等への管理運営に対し助成 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総合評価 | 定量評価 | 100%以上 (4点) | 90~100% (3点) | 80~90% (2点) | 80%未満 (1点) | その他 | 平均 | | | | | | | | | | | |
| 概ね計画どおり | 概ね計画どおり | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3.0 | | | | | | | | | | | | |
| | 定性評価 | (定性評価) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | |